

日本山羊研究会講演要旨作成のてびき

- (1) 本研究会は、日本および世界の山羊の生態、飼養技術、資源活用、経済、社会、文化等に関する研究発表、学術講演、事例報告および解説などを発表できる。
- (2) 研究発表の講演要旨は編集委員会により審査を行う。学術講演、事例報告、解説などの原稿の取り扱いについては、原稿の区分を含め編集委員会に一任とし、修正を求める場合もある。
- (3) 原稿の言語は日本語と英語とする。原稿は MS Word を用いて A4 版横書きで作成する。その際、1 段組で 2 頁以内（和文 2,000 字以内、英文 750 語以内）とする。原稿の構成は、表題、著者名（演者氏名の前に○印）、所属機関名（所在地）、キーワード（5 語以内）、緒言（または背景と目的や、はじめになど）、材料および方法、結果、考察（または結果および考察）、謝辞（あれば）、文献（あれば）の順を基本とする。
- (4) 本文を改行する時は、和文の場合 1 字空け、英文の場合は 3 字空けて書く。
- (5) 句読点などは、「、。・；：「」（）-」を用い、行末にはみ出す句読点および括弧は行末に書く。
- (6) 年号は西暦とし、元号を使用する時は、可能な限り西暦を付記する。例：明治 43（1910）年
- (7) 図表および写真は原稿の最後に配置し、原稿の余白に位置を示す。ただし、希望通りに配置されないこともある。図のタイトルは図の下、表のタイトルは表の下に配置し、図表の内容を簡潔に説明する表現とする。
- (8) 引用文献リストは、著者名、発行年、表題、雑誌名、巻、ページの順で、本文の後にまとめて記載する。雑誌名は略さない。単行本の場合は、著者名、発行年、書名、版、引用ページ、発行所、発行地の順とする。本文中の引用は次のいずれかの方法で行う。
 - ・引用カ所の右肩にカタカッコつきの通し番号を付け、引用文献リストでは番号順に並べる。
 - ・引用カ所の直後に全角の両カッコを記し、カッコ内に著者名と発行年を記す。引用文献リストでは著者名のアルファベット順に並べる。
- (9) 原稿は、「〒989-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字蓬田 232-3 東北大学大学院農学研究科陸圏生態学分野内 日本山羊研究会編集委員会」（e-mail : kakahara@tohoku.ac.jp）に電子媒体あるいはファイル添付で送付する。事務局が移転した場合には送付先は自動的に変更される。

2021 年 4 月 10 日制定